

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2026年1月21日

訪日外客数（2025年12月推計値）

◇12月：3,617,700人、12月過去最高を更新

◇2025年計：42,683,600人、年間で4,200万人を突破し過去最多

- 12月の訪日外客数は3,617,700人で、前年同月比では3.7%増となり、12月として過去最高を記録した。スクールホリデーやクリスマス・年末年始に合わせた旅行需要の一層の高まりが多く市場で見られ、東アジアでは韓国、台湾、東南アジアではマレーシア、タイ、欧米豪では米国、カナダを中心に訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- また、2025年の年間訪日外客数は42,683,600人で、前年比では15.8%増と、過去最高であった2024年の36,870,148人を580万人以上上回り、年間過去最高を更新した。
- 韓国、タイなど7市場で単月過去最高を更新したほか、台湾や米国、カナダなど14市場で12月として過去最高を記録した。また、豪州が初めて累計100万人を突破し、中国、韓国、台湾、米国、香港、タイに次ぎ7市場目となる年間で100万人を超えた市場となった。なお、20市場が年間累計で過去最高を記録した。
- 2023年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

* 月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値 (Excel)」、「国籍/月別 訪日外客数 (2003年～2025年) (PDF・Excel)」

* 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

* 単月過去最高の7市場は、韓国、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン。

* 12月過去最高の14市場は、台湾、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、北欧地域、中東地域。

* 年間累計で過去最高を記録した20市場は、韓国、台湾、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、北欧地域、中東地域。

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL : 03-5369-6020 E-MAIL : data@jnto.go.jp

2025年 訪日外客数・出国日本人数

2025 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization(JNTO)

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2024	2025	伸率 Change %	2024	2025	伸率 Change %
1 Jan.	2,688,478 (2,386,640)	3,781,629 (3,455,149)	40.7 (44.8)	838,581	912,298	8.8
2 Feb.	2,788,224 (2,548,085)	3,258,491 (2,965,065)	16.9 (16.4)	978,884	1,181,062	20.7
3 Mar.	3,081,781 (2,771,105)	3,497,755 (3,149,434)	13.5 (13.7)	1,219,789	1,423,449	16.7
4 Apr.	3,043,003 (2,763,384)	3,909,128 (3,587,187)	28.5 (29.8)	888,767	961,386	8.2
5 May	3,040,294 (2,758,219)	3,693,587 (3,368,573)	21.5 (22.1)	941,709	1,076,756	14.3
6 Jun.	3,140,642 (2,913,631)	3,377,985 (3,110,559)	7.6 (6.8)	930,229	1,054,045	13.3
7 Jul.	3,292,602 (3,055,187)	3,437,118 (3,161,501)	4.4 (3.5)	1,048,823	1,205,435	14.9
8 Aug.	2,933,381 (2,646,445)	3,428,406 (3,072,139)	16.9 (16.1)	1,437,126	1,648,279	14.7
9 Sep.	2,872,487 (2,544,751)	3,267,228 (2,893,816)	13.7 (13.7)	1,212,545	1,394,525	15.0
10 Oct.	3,312,193 (3,021,710)	3,896,524 (3,579,441)	17.6 (18.5)	1,148,502	1,243,575	8.3
11 Nov.	3,187,175 (2,922,383)	3,518,000 *	10.4 *	1,175,117	1,330,014	13.2
12 Dec.	3,489,888 (3,280,013)	3,617,700 *	3.7 *	1,187,210	1,300,700 *	9.6 *
1~12 Jan.-Dec.	36,870,148 (33,611,553)	42,683,600 *	15.8 *	13,007,282	14,731,500 *	13.3 *

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値、2024年の値は確定値である。

◆注3: 訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are definitive (2024) and provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2025年12月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2024年比）

Visitor Arrivals for Dec. 2025 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2024)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2024年 12月	2025年 12月	伸率(%)	2024年 1月～12月	2025年 1月～12月	伸率(%)
総数	Grand Total	3,489,888	3,617,700	3.7	36,870,148	42,683,600	15.8
韓国	South Korea	867,377	974,200	12.3	8,817,765	9,459,600	7.3
中国	China	604,293	330,400	-45.3	6,981,342	9,096,300	30.3
台湾	Taiwan	491,162	588,400	19.8	6,044,316	6,763,400	11.9
香港	Hong Kong	285,553	291,100	1.9	2,683,391	2,517,300	-6.2
タイ	Thailand	146,666	174,000	18.6	1,148,848	1,233,100	7.3
シンガポール	Singapore	136,250	140,600	3.2	691,226	726,200	5.1
マレーシア	Malaysia	71,629	100,600	40.4	506,883	636,600	25.6
インドネシア	Indonesia	74,994	81,700	8.9	517,651	640,600	23.8
フィリピン	Philippines	108,515	115,600	6.5	818,659	885,100	8.1
ベトナム	Vietnam	40,060	43,700	9.1	621,173	678,500	9.2
インド	India	17,001	23,300	37.1	233,061	315,100	35.2
豪州	Australia	112,500	121,300	7.8	920,196	1,058,300	15.0
米国	U.S.A.	238,523	270,700	13.5	2,724,594	3,306,800	21.4
カナダ	Canada	48,259	57,200	18.5	579,445	688,000	18.7
メキシコ	Mexico	12,021	17,000	41.4	151,835	200,400	32.0
英国	United Kingdom	30,319	34,600	14.1	437,230	535,000	22.4
フランス	France	20,712	26,000	25.5	385,071	457,600	18.8
ドイツ	Germany	15,781	20,400	29.3	325,870	429,500	31.8
イタリア	Italy	15,141	21,700	43.3	229,785	309,400	34.6
スペイン	Spain	10,503	13,600	29.5	182,284	245,600	34.7
ロシア	Russia	5,879	8,300	41.2	99,264	194,900	96.3
北欧地域	Nordic Countries	10,635	13,300	25.1	150,730	192,900	28.0
中東地域	Middle East	12,569	17,400	38.4	166,259	257,200	54.7
その他	Others	113,546	132,600	16.8	1,453,270	1,856,200	27.7

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2024年の数値は確定値、2025年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2024 are definitive, while figures for 2025 are the preliminary ones estimated by JNTO.

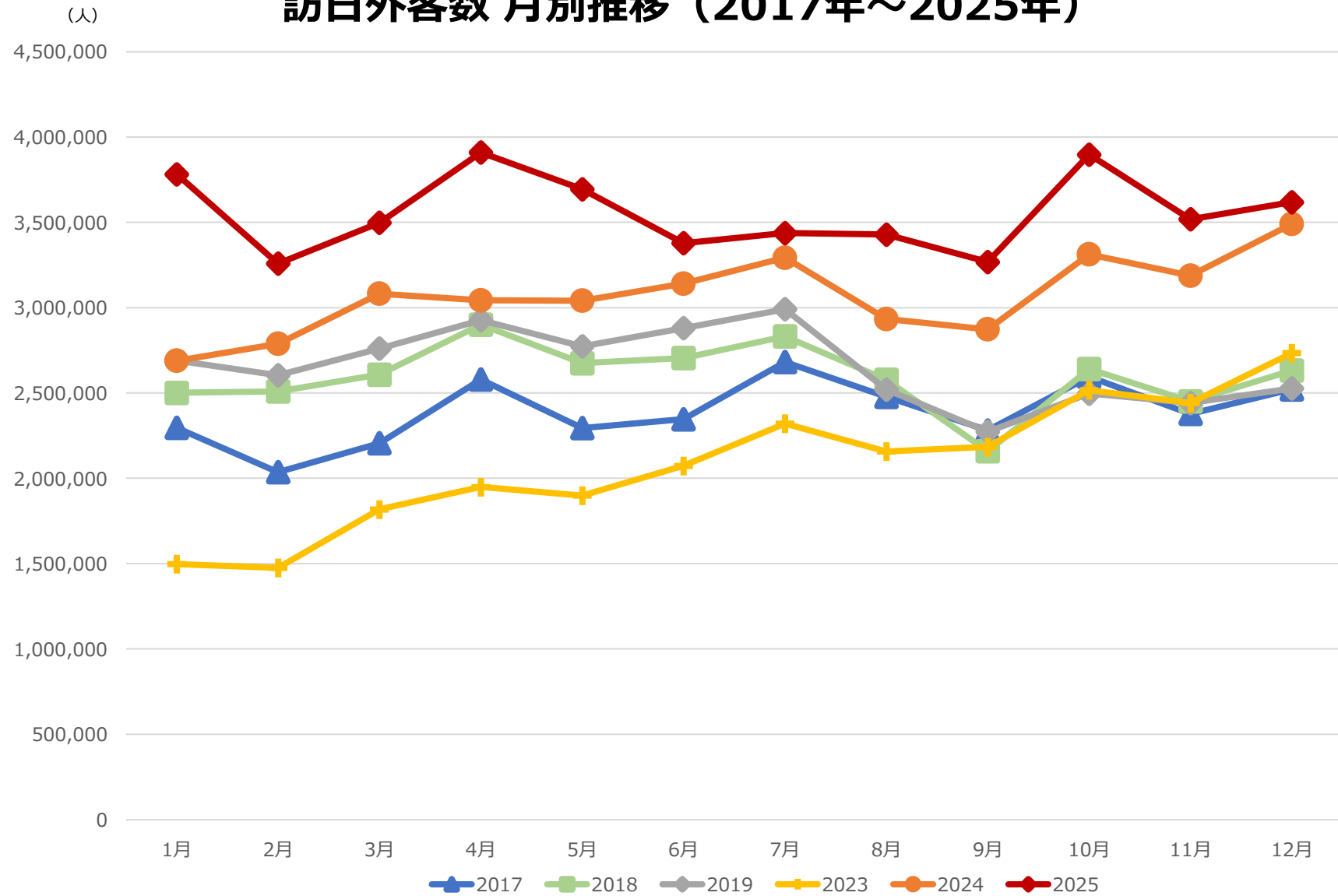
◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

訪日外客数 月別推移 (2017年~2025年)



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年~2022年の数値は除く。
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は2025年12月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2026年1月14日時点)としている。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航空路線で2025年12月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

全市場共通

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の拡大以降、航空・旅行会社を取り巻く人手不足や旅行費用の高騰等の課題が多く見られている。また、欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となっている。なお、多くの市場において円安傾向が継続している。

1. アジア

① 東アジア

- 韓国は、974,200人(前年同月比12.3%増)であった。継続する訪日旅行人気に加え、金浦～関西間、仁川～関西間の増便をはじめとした航空座席数の増加、大学生による訪日需要の高まりの影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- 中国は、330,400人(前年同月比45.3%減)であった。訪日需要が落ち着く時期であることに加え、中国政府より日本への渡航を避けるよう注意喚起があった。航空便の減便の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- 台湾は、588,400人(前年同月比19.8%増)であった。継続する訪日旅行人気に加え、台南～熊本間、台南～那覇間の新規就航、台北桃園～新千歳間の増便を含む地方路線による航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は12月として過去最高を記録した。
- 香港は、291,100人(前年同月比1.9%増)であった。前年同月と比較して航空座席数が減少していたものの、スクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。

② 東南アジア

- タイは、174,000人(前年同月比18.6%増)であった。経済の不透明感による海外旅行需要の

低迷等の影響があったものの、三連休や 2026 年年始に祝日が追加されたことによる年末からの五連休、バンコク～仙台間の復便や、バンコク～羽田間、バンコク～成田間、バンコク～関西間の増便の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。

- シンガポールは、140,600 人（前年同月比 3.2%増）であった。割安な訪中旅行への人気の高まり等があるものの、スクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- マレーシアは、100,600 人（前年同月比 40.4%増）であった。査証免除措置による訪中旅行の継続的な人気等があるものの、スクールホリデーやクアラルンプール～関西間の直行便数の増加の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- インドネシアは、81,700 人（前年同月比 8.9%増）であった。スクールホリデーや継続する日本人気の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- フィリピンは、115,600 人（前年同月比 6.5%増）であった。三連休やスクールホリデー、マニラ～新千歳間の復便の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- ベトナムは、43,700 人（前年同月比 9.1%増）※であった。経済の先行き不透明感による海外旅行需要の減少等の影響があるものの、ハノイ～広島間、ハノイ～中部間の増便等による航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は 12 月として過去最高を記録した。
 - 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。
- インドは、23,300 人（前年同月比 37.1%増）であった。ベンガルール～成田間、デリー～羽田間、ムンバイ～成田間の増便や経路便の利便性向上の影響等もあり、訪日外客数は 12 月として過去最高を記録した。

2. 豪州、北米

- 豪州は、121,300 人（前年同月比 7.8%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、パース～成田間の増便、シドニー～新千歳間の復便や 12 月下旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は 12 月として過去最高を記録した。
- 米国は、270,700 人（前年同月比 13.5%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較した航空座席数の増加や 12 月下旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は 12 月として過去最高を記録した。
- カナダは、57,200 人（前年同月比 18.5%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較した航空座席数の増加や 12 月下旬から始まったスクールホリデーの影響等もあ

り、訪日外客数は12月として過去最高を記録した。

- **メキシコ**は、17,000人（前年同月比 41.4%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化や12月下旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は12月として過去最高を記録した。

3. 欧州

- **英国**は、34,600人（前年同月比 14.1%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化や12月中旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は12月として過去最高を記録した。
- **フランス**は、26,000人（前年同月比 25.5%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、若年層を中心とした訪日需要の高まりや12月下旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は12月として過去最高を記録した。
- **ドイツ**は、20,400人（前年同月比 29.3%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化や12月下旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は12月として過去最高を記録した。
- **イタリア**は、21,700人（前年同月比 43.3%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化や12月下旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は12月として過去最高を記録した。
- **スペイン**は、13,600人（前年同月比 29.5%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化や12月下旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は12月として過去最高を記録した。
- **ロシア**は、8,300人（前年同月比 41.2%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、12月下旬から始まったスクールホリデーのほか、経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

4. 北欧地域

- **北欧地域**は、13,300人（前年同月比 25.1%増）であった。訪日旅行に関する現地での報道の増加に加え、前年同月と比較した航空座席数の増加や北欧地域各国におけるスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は12月として過去最高を記録した。

5. 中東地域

- **中東地域**は、17,400人（前年同月比 38.4%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較して直行便数が増加したことや中東地域各国におけるスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は12月として過去最高を記録した。